

みやこ
京の環境共生推進計画
環境レポート(案)
～平成22年度版～

環境への負荷の少ない持続可能なまち
「環境共生型都市・京都」

京都市

はじめに

環境レポートは、京都市の環境行政の基本計画として策定した「京の環境共生推進計画」の進ちょく状況等を、市民・事業者の皆様にお伝えし、くらしと環境とのつながりをもっと身近に感じていただくことを目指して毎年発刊しています。

「環境レポート」の特徴

環境指標をものさしに、環境の状況を分析しました！

環境指標の最新の値に基づき、計画の進ちょく状況をわかりやすくお知らせしています。

施策のトピックスを紹介します！

積極的に施策へ参加していただくために、身近に取り組める事業やイベントをトピックスとして紹介しています。

環境学習のテキストとしても御活用ください

本レポートを地域や職場の研修、学校での環境学習などのテキストとしてご活用ください。

また、「京都市の環境をあなたがチェック！～環境レポートによる意見募集～」のテーマで、「京都市政出前トーク」を実施していますので、ぜひお申込みください。

市民意見募集について

本レポートを皆様との大切なコミュニケーションツールと位置づけ、今後の環境の保全に関するさまざまな施策・事業に反映させていきたいと考えております。

本冊子に添付した用紙にご記入のうえ、皆様のご意見、ご感想をお送りくださいますようお願い申し上げます。

目次

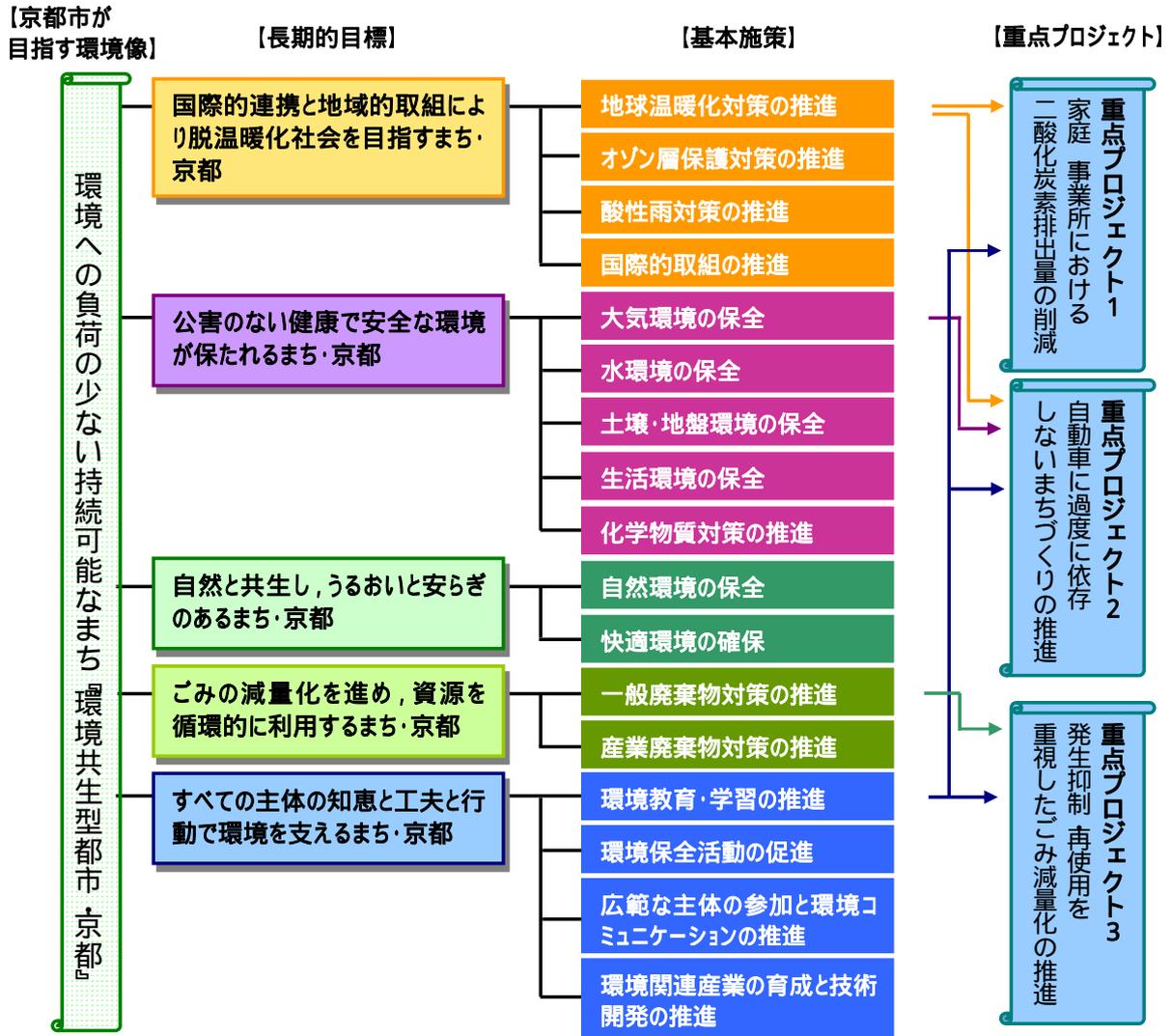
はじめに	1	長期的目標の進ちょく状況	9
市民意見募集について	1	長期的目標1 国際的連携と地域的取組により 脱温暖化社会を目指すまち・京都	9
目次	1	長期的目標2 公害のない健康で安全な環境が 保たれるまち・京都	11
計画の基本的事項	2	長期的目標3 自然と共生し、 うるおいと安らぎのあるまち・京都	13
計画の推進	2	長期的目標4 ごみの減量化を進め、 資源を循環的に利用するまち・京都	15
進ちょく度分類について	2	長期的目標5 すべての主体の知恵と工夫と 行動で環境を支えるまち・京都	17
重点プロジェクトの取組について	3	環境関連施設の紹介	19
重点プロジェクト1 家庭・事業所における二酸化炭素 排出量の削減	3	主な市の取組の紹介	20
重点プロジェクト2 自動車に過度に依存しないまち づくりの推進	4	助成制度の紹介	22
重点プロジェクト3 発生抑制・再使用を重視したご み減量化の取組	5	平成 21 年度環境レポートへの市民意見について	23
特集 人と自然が共生することの大切さを学ぼう！	6	本書の問合せ先	23
区の取組の紹介	7	関連ホームページの URL	23
恒例イベントの紹介	8		

計画の基本的事項

計画の目的・位置付け 本計画は、「京都市環境基本条例」の規定に基づき策定したもので、環境の保全に関する個別分野の施策の大綱などを示す環境行政のマスタープランとして位置付けられるものです。

計画の期間 平成 18 年度～27 年度までの 10 年間

計画の施策体系



重点プロジェクトは、京都市をとりまく環境の現況や市民の関心から、優先的に取り組む分野を選定したものです。

計画の推進

計画(Plan)の着実な推進を図るために、計画の目標実現に向けた施策・事業の状況等(Do)を定期的に評価し(Check)、適切に見直し推進する(Action)、としたPDCAサイクルの手続きに沿って実施しています。

進捗度分類について

環境指標のうち目標値をもつ数値目標とプロジェクト目標について、下表のように進捗を評価しました。

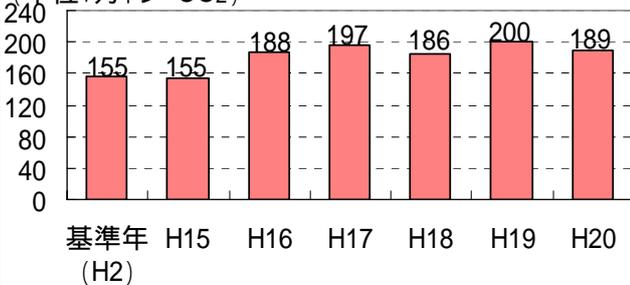
4段階評価	(目標よりも進んでいる)	(ほぼ目標どおり)	(目標よりも遅れている)	×(目標よりも大幅に遅れている)
年々増加・減少する項目	翌年度の年目標値以上	前年度の年目標値以上 翌年度の年目標値未満	3年度前の年目標値以上 前年度の年目標値未満	3年度前の年目標値未満
京都市環境保全基準	80%以上	60%以上 80%未満	40%以上 60%未満	40%未満

重点プロジェクト1 家庭・事業所における二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素の排出量は減ってきていますが、家庭と事業所から排出される二酸化炭素量が増加しています。温室効果ガス排出量の約95%が二酸化炭素排出量なんだよ

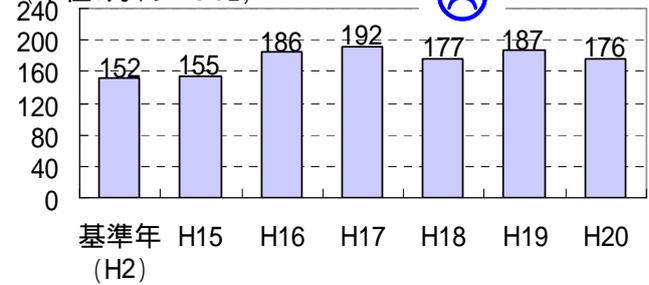
民生・家庭部門の二酸化炭素排出量の推移
家庭から排出される二酸化炭素量は基準年から約22%増加しています。

(単位:万トン-CO₂)



民生・事業所の二酸化炭素排出量の推移
事業所から排出される二酸化炭素量は基準年から約16%増加しています。

(単位:万トン-CO₂)



エコちゃん

Q.増加し続けて地球温暖化が進むと、私たちの生活はどうなるんだろう？

- A. 日本では、コメの高温障害、果実の着色不良、病害虫の多発など、近年の高温化による農作物生育への影響が懸念されています(右写真)。猛暑日や熱帯夜が増え、熱ストレスによる死亡リスクや熱中症患者が増加し、病人やお年寄り、子どもの健康に悪影響をもたらすおそれがあります。急激な気候変動に適応できない動植物が減少し、最悪の場合は種の絶滅をもたらすおそれが高まります。



コメの白未熟粒の発生
(農林水産省 H20 地球温暖化影響調査レポートより)

Q.二酸化炭素削減のために私たちにできることは何だろう？

A.省エネ・省資源のくらしを心掛けよう！

私たちの生活に不可欠な電気などのエネルギーを作る際に、あるいは自動車を利用した際に、石油などの化石燃料が使われ、二酸化炭素などの温室効果ガスが発生しています。つまり、私たちの生活と地球温暖化問題は直結しているのです。地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりが地球温暖化という問題に向き合い、省エネ・省資源の生活を実践し、温室効果ガスを減らすことが大切です。

使っていない部屋の電気は消しましょう。

そうか！みんなもできる簡単なことだね

室温を調整し、冷房時は28℃、暖房時は20℃に設定しましょう。

買い物に行くときは、必ずマイバッグを持参し、レジ袋や過剰包装を断りましょう。

自動車の使用を減らし、公共交通機関や自転車を利用しましょう。

家電製品を買い替える際には、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

使い捨て商品の使用を控えましょう。



エコを意識した室温設定



過剰包装を断りましょう



車の使用を減らそう



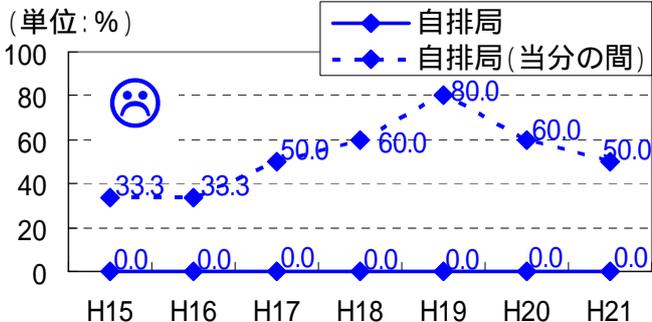
購入時は省エネラベルを確認

重点プロジェクト2 自動車に過度に依存しないまちづくりの推進

車を利用しすぎると空気が汚れたり、地球温暖化が進行します。

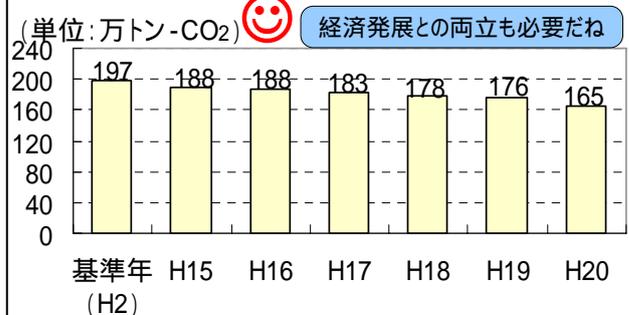
大気中の二酸化窒素市保全基準達成率の推移

自動車の排気ガスが主な原因の一つである二酸化窒素濃度の市保全基準は全測定局で未達成が継続しています。



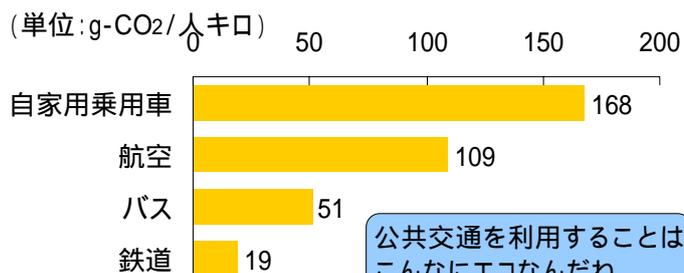
運輸部門の二酸化炭素排出量の推移

運輸部門の二酸化炭素は約9割が自動車から排出され、基準年から44.5%減少しています。

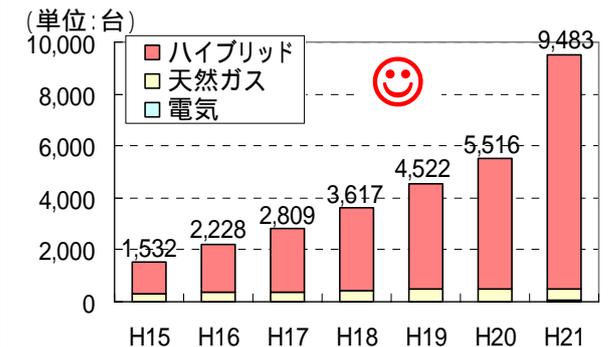


車を使う代わりに公共交通を利用すれば、もっと快適な環境に変えることができます！

人1人を1キロ輸送するときに排出される二酸化炭素を比べると、鉄道は自家用乗用車の1/9、バスは自家用乗用車の1/3以下しか排出しません。



平成21年度の低公害車の登録台数は9,483台であり、年々増加しています。



「パーク アンド ライド」～マイカーから公共交通に乗り換えて市内を楽しもう～

市内への自動車流入抑制などを目指して、マイカーから公共交通に乗り換えて目的地まで移動する取組です。近隣自治体や、市周辺部の駐車場事業者の皆様との連携のもと、観光シーズンやお盆、年末年始など自動車交通の増加に併せ、土曜、日曜、休日に、民間企業や大型商業店舗など市内外に約20か所の駐車場で、パークアンドライドを実施しています。



Q.「カーシェアリング」って何？

無料で電気自動車を体験できるよ！

A. 同じ車を友達やご近所の方で共同利用することです。

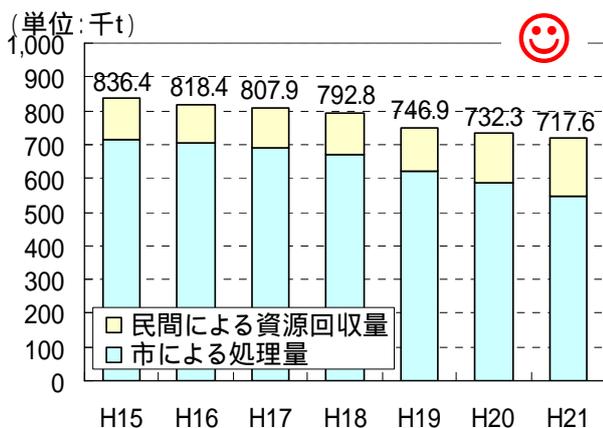
電気自動車(EV)が広く普及していくことを目的に、電気自動車を市民、事業者の皆様へ無料で利用いただくカーシェアリング事業を実施しています。平成21年度は83件の利用がありました。

他にも、低公害車を普及するために、充電設備の設置個所の増設や、タクシー・レンタカー事業者への普及支援、PRイベントを開催する等、多彩な普及活動に取り組んでいます。



重点プロジェクト3 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進

ごみは減ってきています。でも将来まで美しい京都を引き継いでいけるかな？



一般廃棄物総排出量の推移

市民の皆様の日々の取組の積み重ねや家庭ごみ有料指定袋制の導入へのご協力等により、平成 18 年以降、一般廃棄物総排出量は年々減少しており、平成 22 年度及び平成 27 年度の目標値をすでに達成しています。

しかし、次の世代に美しい京都を引き継いでいくためには、さらなるごみの減量と分別が大切です。

京都で暮らす、京都で学ぶ、京都で働く、そして、京都に集う一人ひとりの皆さんの力を結集し、ごみを減らすことで、「低炭素社会」、「循環型社会」を実現しましょう。

Q. でも、ごみを減らすと、どんな良いことがあるの？

A. 1. 温室効果ガスの削減にもつながります。

将来世代に青く美しい地球を引き継ごう！

2. クリーンセンターを現在の4工場体制から3工場体制に見直すことができます。

建替え経費 400 億円、運営経費 億円を節約できます！

3. 埋立処分場が 70 年以上使用可能になります。

今ある埋立処分場は完成までに 22 年の年月、520 億円以上もの経費がかかっています。

美しい環境を引き継いで、孫の世代まで貴重な埋立処分場を使いましょ！



こごみちゃん

Q. 分別して出したプラスチック製容器包装はどのように処理されるの？

A. 回収されたプラスチック製容器包装は、市内 2 箇所の中間処理施設(西部圧縮梱包施設・横大路学園)で用途に応じた選別を行った後、リサイクル事業者へ引渡しています。プランターやパレットなどのプラスチック製品や化学原料にリサイクルしています。

・リサイクルの取組のイラストを挿入

選別作業中にケガが発生しました
分別にご協力ください。

収集したプラスチック製容器包装は中間処理施設に運び込まれ、異物を取り除いた後にリサイクル業者に引き渡されます。職員が手作業で除去しているため、刃物や注射器などの在宅医療器具の混入により、ケガが発生しています。



混入していた危険物(包丁、注射針など)

特集 “人と自然が共生することの大切さ”を学ぼう！

人類は、生態系を利用することによってさまざまな恩恵を受けてきました。しかし、近年、人口の増加や科学技術の進歩が人間活動を増大させ、生態系の断片化と破壊、生物多様性の減少を引き起こしています。これによって、人間が豊かな生活を送るための基礎が脅かされています。生態系の恩恵を持続的に利用するためには、人と自然が共生することが大切です。

都市部における自然再生の成功事例として、様々な生き物が生息し、観察しながら環境学習できる梅小路公園内の「いのちの森」について紹介します。

「いのちの森」ってどんなところ？

1996年に開設された面積約0.6haの緑地

朱雀の庭と一体となったいのちの森は、都市空間に自然の生態系を復元したビオトープ。今では樹木等が豊かに茂っている森の様相



いのちの森を上空から撮影



左写真は樹冠回廊を豊かに覆う樹木 (整備後14年)

いのちの森の豊かさを生物種数で表すと

平成8年から21年までに確認された数

植物: 103科 566種

菌類: 301種

鳥類: 60種 (30種程度/年で安定)

昆虫: 越冬昆虫は29種



カワセミ (鳥の宝石とも呼ばれます)



マガモ (繁殖している様子)



ゴマダラチョウとクワガタムシ (奇跡のツーショット!)



ウンモンズズメ (ケヤキを食草としている)



ニガクリタケ (猛毒をもつキノコ! 毒キノコを学ぶ良い教材となっています)

自然観察会に参加しよう!

いのちの森の重要な役割のひとつに「市民の環境学習の場」の提供があります。毎月第3土曜日(年間15回)に自然観察会を開催しています。

【平成21年度の観察会の内容】

- 植物の基礎知識
- いのちの森のキノコ
- いのちの森の昆虫
- 越冬昆虫の観察
- 冬鳥の観察 など



市民の環境学習の場として開放



夏休み親子自然観察会 (楽しみながらアメリカザリガニを駆除)

生物多様性国際自治体会議にて、市長が「いのちの森」の取組を発表

平成22年10月に名古屋で開催された上記会議にて、都市部における自然再生の成功事例として、市長がいのちの森の取組を発表しました。



場所: 京都駅中央口より塩小路通を西へ徒歩約15分

梅小路公園 検索

区の取組の紹介

きょう

京からみんなで環境にええことしましょ！

北区 レジ袋削減を北区から！

市内で最もレジ袋削減が進んでいるモデル地区として取組を展開しています。PTAや地域女性会、保健協議会など、地域団体の皆さんとの協働による学区単位でのレジ袋学習会を開催し、レジ袋をはじめとする容器包装ごみ削減の必要性やその方法を学びました。



上京区 「みんなで花を咲かそう」活動

区役所と共汗・協働し、年間を通じて区役所玄関前に季節の草花をきれいに植え、庁舎に彩りを添えることで、通行人や来庁者にまちの環境美化についての意識を高めてもらおう「みんなで花を咲かそう」活動を実施しています。



左京区 小学生のエコへの取組

錦林小学校の4年生がゴーヤを校舎の壁にはわせて育て、「緑のカーテン」を作りました。作り始めて3年目になる今年は、学校の前庭や中庭にも緑のカーテンを作りました。また、地球環境に対する理解を深めるために、家族や友達と相談しながら、「子ども版環境家計簿」にも取り組みました。



中京区 緑のカーテンづくり

緑のカーテンづくりの取組を通じて、涼しくてエコな暮らしについて体験し、取組を拡大するために、総合庁舎で区民ボランティア「中京・花とみどりの会」のご協力により、ゴーヤによるグリーンカーテンづくりに取り組みました。



東山区 東山区ふれあい広場

「環境にやさしく」を合言葉に、マイ箸、マイバック持参を呼びかけ、会場ではリユース食器を使用することで、ごみ減量に取り組みました。また、使用済てんぷら油や蛍光管、不要になった携帯電話などの小型家電を回収するコーナーを設け、循環型社会について体験しました。



山科区 2万人まち美化作戦

ごみのない美しいまちを目指し、各学区自治連合会が中心になり、学区内の道路・河川などの一斉清掃や門掃き、電柱・電話ボックスの違反広告物の撤去などを行う「山科区 2万人まち美化作戦」を実施しました。



下京区 地球環境にやさしい暮らし方」をしよう

美しいまちを次の世代に引き継ぐために、昨年「下京区環境宣言」を策定し、今こそ一人ひとりが「地球環境にやさしい暮らし方」をしようと呼び掛けています。環境月間の取り組みとして、京都駅、東本願寺、西本願寺周辺道路の歩道などエコ・クリーン作戦を展開しました。



南区 「打ち水」作戦

8月の「DO YOU KYOTO?デー」の取組として、ヒートアイランド現象の緩和等の意識を高めるため約40名が南区役所前で「打ち水」作戦を実施しました。その結果、実施前後で気温が2度下がり、打ち水の効果を実感しました。



西京区 西京塾の紹介

まちづくり活動への関心の喚起とまちづくり活動に携わる人材の育成を目的として、区基本計画の重点プロジェクトの一つとして、平成16年度から「西京塾」の取組を実施しています。

現在、「環境・自然班」と「地域コミュニケーション班」の2つのグループを立ち上げ、計画の策定から実践に至るまで、多彩な活動を活発に展開しています。



右京区 京北自然体験ツアー

豊かな森林と清流などの自然環境に恵まれた京北地域において、4回目となる今年は、森林の手入れに欠かせない間伐の作業体験や、木質ペレットの工場見学、樹齢千年とも言われる伏条台杉の森「片波川源流域」の見学等を行いました。



伏見区 伏見 eco 市

「環境先進区」を目指して、身近な生活環境から地球環境に至るまで、環境問題に対する意識の向上を図るため、「伏見eco市」を実施しました。

区民ボランティアを中心とした地域の活動である「きらり伏見区まちづくりプロジェクト」の創意工夫により、楽しみながらエコを体感できる環境啓発ブースの設置や、納所地域ごみ減量推進会議の協力によるフリーマーケットを開催しました。



～環境に関するイベントにもっと参加してみませんか～

恒例の環境保全・環境学習に関するイベントを紹介します

イベント名	開催時期	内容	担当課
環境月間	6月		環境政策局環境管理課
ごみ減量エコバスツアー	通年	ごみ処理の方法、ごみ減量の大切さについて学びませんか。	環境政策局循環企画課
パークアンドライド	5,11月頃		都市計画局歩くまち京都推進室

これらのイベントは一例ですので、詳しくは市民しんぶんなどで随時、お知らせします。

長期的目標 1 国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都

Plan (計画・目標)

京都議定書誕生の地である京都において、私たちの日常や通常の事業活動から生じる環境への負荷が、地球規模の環境問題に多大な影響を与えています。

環境負荷を低減するために、エネルギーの省力化、新エネルギーの導入などを促進し、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を抑制することにより、脱温暖化型の地域社会を目指します。

国際機関との連携により、地球温暖化対策をはじめとした環境保全全般に係る取組を推進します。

基本
施策

1-1 地球温暖化対策の推進

1-2 オゾン層保護対策の推進

1-3 酸性雨対策の推進

1-4 国際的取組の推進



: 良い状況にある



: どちらともいえない



: やや悪い状況にある

【地球温暖化対策の推進の目標値】

「京都市地球温暖化対策条例」に規定する「平成 22 年までに温室効果ガスの排出量を基準年である平成 2 年の 90%に削減する」ことを目標値とします。

基準年: 1990(平成 2)年 772 万トン

90万トン減
(11.6%減)

2008年(平成 20)年 682 万トン

・排出量 693 万トン

・森林吸収等の削減効果量 11.1 万トン

目標年: 2010(平成 22)年 695 万トン

(90 年比 10%削減)

温室効果ガスの排出量及び排出目標量

Do (実施)

「DO YOU KYOTO?」って何?

「環境にいいことしていますか?」という意味の合言葉です。

「京都議定書」誕生のまに生きる誇りを共有し、一人ひとりがエコ活動を実践し、環境にやさしい取組の輪を広げて行きましょう。



太陽光発電の普及促進

民生・家庭部門からの温室効果ガスの排出を抑制するため、住宅用太陽光発電システム設置に助成しています。

4,76kW は世帯がするのと同程度です。



イクレイ (ICLEI) を通じた国際的取組

イクレイ (持続可能な開発に積極的に取り組む自治体及び自治体連合) に加盟し、市長が世界理事を務めています。

コペンハーゲンで開催された「イクレイ気候ラウンジ」で、これまでの取組や成果、自治体としての将来像を、「京都からコペンハーゲン、その先へ」と題して発信しました。

木質ペレットの普及促進

木質ペレットとは、化石燃料ではなく、間伐材などの木質資源を粉碎し、圧縮・成型した固形燃料です。右京区京北に、京都府唯一の大規模木質ペレット製造工場が完成しました。

木質ペレットの普及は、地域の健全な森林整備につながるとともに、「低炭素社会」の実現を目指す大きな一歩となります。木質ペレットの利用促進を目的として、ペレットボイラーやストーブの導入助成を行っています。

木質ペレット



ペレットストーブ

主な環境指標の推移

Check (点検)

- ・温室効果ガス排出量(二酸化炭素排出量)は減少していますが、部門別にみると、民生・家庭部門及び民生・業務部門は大きく増加しています。
- ・新エネルギー導入量(公共施設における太陽光発電システム導入量)は大きく増加しています。

環境指標		単位	指標区分 ¹	基準値(H2)	実績値(H20)	目標値(H22)	進捗度及び対基準値比	
温室効果ガス排出量		万トン	↓	772	693	695		10.2%
二酸化炭素排出量		万トン	↓	725	661	660		8.9%
部門別二酸化炭素排出量	産業部門	万トン	↓	195	108	118		44.5%
	運輸部門	万トン		197	165	197		16.1%
	民生・家庭部門	万トン		155	189	155		-21.8%
	民生・業務部門	万トン		152	176	156		-16.2%
	廃棄物部門	万トン		25.8	21.8	33.7		15.5%
新エネルギー導入量(公共施設における太陽光発電システム導入量)		kW	↑	446.4(H16)	1,002.3(H21)	-	-	124.6%
公共交通機関利用者数		百万人	↑	515.6(H16)	532.1	-	-	3.2%
海外からの環境施設視察者数		人	↑	231(H16)	628(H21)	-	-	171.9%

1.環境指標の表中に示す「指標区分」は、環境指標の方向性(ただし、長期的目標2に掲げる市保全基準達成率については達成状況を踏まえ区分しています)に基づき以下のように区分しています(以下の表同じ)。

「↑」:増加する(高くなる)ことが良い指標 「↓」:減少することが良い指標 「→」:維持することが良い指標

Action (改善・見直し・更なる前進)

京都市地球温暖化対策条例が改正されました

改正条例の目標

2030(平成42)年度までに1990(平成2)年度比**40%削減**

2020(平成32)年度までに1990(平成2)年度比**25%削減**

改正条例の特徴

- 1 低炭素社会の実現に向けた新たな取組を規定
- 2 京都府地球温暖化対策条例との連携・整合

【市が講じる施策】

カーシェアリングの普及促進,地域産木材の利用促進,食の地産地消の促進,環境産業の育成・振興,地球温暖化対策を推進する人材の育成 など



京都市環境審議会からの答申

「DO YOU KYOTO?」バスの運行

「DO YOU KYOTO? ~環境にいいこととしてますか?~」を合言葉とする環境にやさしい取組を市民や観光客の皆様へ普及啓発するため、「DO YOU KYOTO?」のデザインでラッピングした

バスを運行しています。



平成の京町家 ~新たな時代の京都のモデル住宅~

伝統的な京町家の知恵と最新の環境技術を融合した「平成の京町家」のモデル住宅を開発・建設しました。

- ・坪庭など京町家の知恵
- ・太陽熱・地中冷熱,高効率照明等の環境技術を生かした低炭素化
- ・市域産木材の活用による低炭素化



長期的目標 2 公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都

Plan (計画・目標)

大気、水、土壌・地盤などを良好な状態に保持・保全するとともに、自動車交通公害や生活排水による水質汚濁などの都市生活型公害、更には化学物質等による新たな環境問題への適切な対応など、環境汚染の未然防止と拡大抑制に努め、市民が安心して暮らすことのできる公害のない健康で安全な環境を確保します。

基本施策

- 2 - 1 大気環境の保全
- 2 - 2 水環境の保全
- 2 - 3 土壌・地盤環境の保全
- 2 - 4 生活環境の保全
- 2 - 5 化学物質対策の推進

京都市環境保全基準とは

市民の健康で快適な生活・自然環境を確保するために、大気汚染、水質汚濁、地下水汚染、騒音、土壌汚染、悪臭、地盤沈下、緑及びダイオキシン類の9項目について、京都市環境保全基準を設定しています。このうち、悪臭、地盤沈下及び緑の3項目は国の環境基準で定められていない本市特有のものであり、また、大気汚染の二酸化窒素等は国よりも厳しい基準を設けています。

Do (実施)



河川の水質汚染に対する対応
(川にフェンスを張り拡散を防止)



市役所屋上の一般大気測定局
(を自動で測定)



大気ダイオキシン測定状況
(大気自動測定局にて測定)

エコドライブの推進

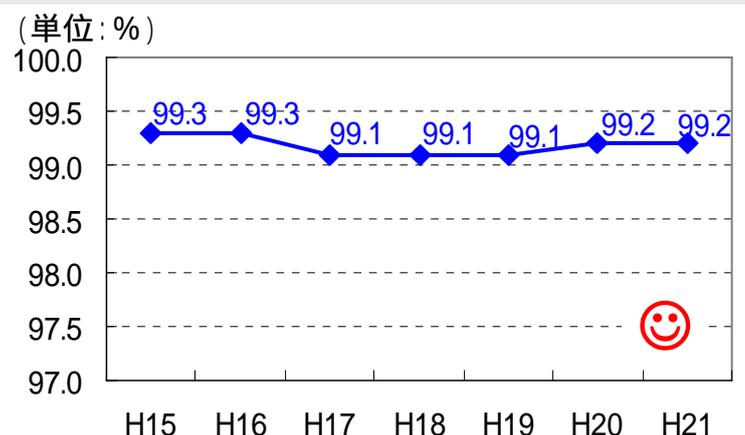
環境にやさしく、お財布にやさしく、安全運転にもつながる、燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブの普及に努めています。

市民を対象とした「京エコドライバーズ」宣言、事業者を対象とした「エコドライブ推進事業所」登録、エコドライブ教室の開催等を行いました。



公共下水道の整備

西京区及び左京区で整備が進み、市全域の下水道普及率も徐々に改善しています。



主な環境指標の推移

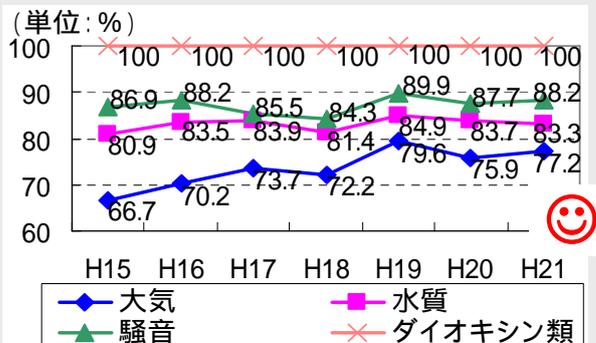
Check (点検)

・市保全基準達成率については、二酸化窒素及び光化学オキシダントで未達成の地点が見られますが、概ね良好な状態にあります。

環境指標		単位	指標区分	基準値 (H16)	実績値 (H21)	目標値 (H22)	進捗度及び対基準値比		
大気汚染に係る市保全基準達成率	二酸化硫黄	一般局	%	→	100.0	100.0	100.0		0.0%
		自排局	%		100.0	100.0	100.0		0.0%
	二酸化窒素	一般局	%	↗	0.0	0.0	100.0	×	-
		自排局	%		0.0	0.0	100.0	×	-
	二酸化窒素(当分の間)	一般局	%	↗	70.0	100.0	100.0		42.9%
		自排局	%		33.3	50.0	100.0		50.0%
	一酸化炭素(自排局)	%	→	100.0	100.0	100.0		0.0%	
	浮遊粒子状物質	一般局	%	→	100.0	100.0	100.0		0.0%
		自排局	%		100.0	100.0	100.0		0.0%
光化学オキシダント(一般局)	%	↗	0.0	0.0	100.0	×	-		
降下ばいじん(一般局)	%	→	100.0	100.0	100.0		0.0%		
水質汚濁に係る市保全基準達成率(BOD)		%	↗	97.1	97.3	100.0		0.2%	
生活排水処理率(公共下水道, 合併浄化槽等)		%	↗	99.6	99.7	100		0.1%	
透水性舗装延長		km	↗	10.1	12.2	10.0		21.3%	
一般騒音に係る市保全基準達成率		%	↗	61.1	68.8	100.0		12.6%	
自動車騒音に係る市保全基準達成率		%	↗	88.2	88.2	100.0		-0.1%	

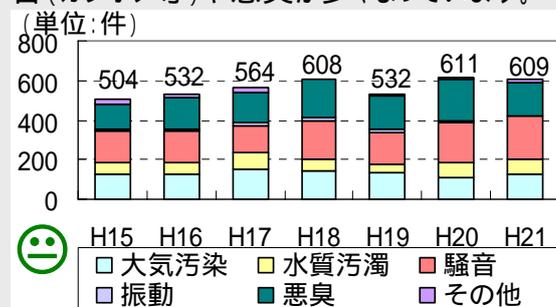
市保全基準達成状況の推移

平成21年度は水質で若干悪化しましたが、長期的には大気及び騒音で概ね良好な状態で推移しています。



公害苦情件数の推移

公害苦情は都市型生活特有の近隣騒音(カラオケ等)や悪臭が多くなっています。



Action (改善・見直し・更なる前進)

二酸化窒素の市保全基準達成に向けて

自動車排ガスが主な原因の一つである二酸化窒素濃度を改善するためには、なるべく車を利用しないこと、マイカーを買う場合はエコカーを選ぶこと、ガソリン車を運転するときはエコドライブに努めることが大切です。



エコドライブ大行動の実施

車での来店が多い大規模商業施設や、エコドライブに積極的に取り組まれている「エコドライブ推進事業所」と協働し、エコドライブの啓発キャンペーン「エコドライブ大行動」を実施しました。



環境共生センターを開設

市民ニーズに迅速に対応するため開設しました。公害苦情相談、浄化槽届出受理等の事務、事業ごみの減量指導、事業者へ地球温暖化対策に関する啓発を行っています。

北部環境共生センター(北・上京・左京・中京・右京区担当)

南部環境共生センター(東山・山科・下京・南・西京・伏見区担当)

長期的目標3 自然と共生し、うるおいと安らぎのあるまち・京都

Plan (計画・目標)

京都の歴史的風土である三方の山々や清らかな川の流れなど、市内の優れた自然環境を保全するとともに、市内に生息・生育する多様な野生動植物との共生を図ります。

また、世界遺産や文化財、史跡等の歴史的な文化環境、伝統的な京町家や町並みに代表される京都固有の趣のある市街地景観を保全するとともに、身近な緑や水辺環境の保全・創造に努め、うるおいと安らぎのある快適環境を確保します。

基本 施策

3-1 自然環境の保全

3-2 快適環境の確保

政令指定都市市民一人当たり公園面積

市街地において公園用地の確保は困難であることから、市民1人当たりの公園面積は4.69㎡であり、目標(10㎡以上)達成に向けて更なる取り組みが必要です。



Do (実施)

京のまちなか緑化助成事業

市街地での緑化推進のため、建築物の屋上、壁面の緑化、また、生垣等の整備に対して助成しています。

平成11年度から生け垣緑化を対象に始めた緑化助成制度は、屋上及び壁面緑化、駐車場緑化等も助成対象とし充実させたことにより、緑化助成実績は大きく増加しています。



「四季の花ストリート」をめざして

市民・事業者の皆様とともに、四季折々の草花等を身近に楽しむことができる「四季の花ストリート」の創設を目指し、「スポンサー花壇」の設置に取り組んでいます。協賛企業・団体や市民との協働により維持管理しています。



堀川に清流が復活しました！

堀川に清流を蘇らせようという市民の願いに応えるため、平成9年度から取り組んできた堀川水辺環境整備事業が平成21年度に完了し、堀川に清流が復活しました。市民の皆さんが「憩い」と「安らぎ」、さらには「うるおい」を感じることができる水辺空間を創造しました。

夏の新しい風物詩となった「京の七夕」の会場としてにぎわいづくりに活用されています。「いのり星」が放流され、川面を煌めき流れる様子がみられたり、手作りの水車が展示されたりしました。



主な環境指標の推移

Check (点検)

- ・森林面積は平成 17 年 4 月、旧京北町との合併により約 1.5 倍に増加しましたが、森林保育・造林面積は、平成 17 年度以降減少しています。
- ・人口 1 人当たり公園等面積は年々微増しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値 (H17)	実績値 (H21)	目標値 (H37)	進捗度及び対基準値比	
森林面積	ha	→	40,744(H16)	61,022(H20)	-	-	49.8%
森林保育・造林面積	ha	↗	928(H16)	759(H20)	-	-	-18.2%
耕地面積	ha	↗	2,805(H16)	3,244	-	-	15.6%
自然体験学習の場利用者数	人	↗	148,006(H16)	152,991	-	-	3.4%
人口 1 人当たり公園等面積	m ² /人	↗	4.56	4.69	10	×	2.6%
保存樹・保存樹林数	件	→	40	39	-	-	-2.5%

Action (改善・見直し・更なる前進)

みんなで探そう 京都のいきもの

市民の皆様へ、人と自然、地域と自然のつながりを再認識していただき、豊かな自然を次世代に引き継いでいく行動を起こすきっかけとなる取組として、「～京都のいきもの発見！！～『みんなで探そう 京都のいきもの』」を実施しました。市内の公園や道路沿いの樹木、里山などで、身近な生き物が発見されています。



地域産木材利用の推進

地域産木材の利用を促進するため、花と緑の市民フェア、ふるさと森都市フェスティバル、京の農林秋まつりなどを開催しています。また、京の山杉人工房や京都北山杉の里総合センターにて地域産木材の普及に努めています。



みやこ杉木
京都市認証マーク



京の山 杉人工房
(まちの中の森の窓口)

農林行政基本方針を策定しました

今後 10 年間の京都市の農林業が進むべき方向を示す内容となっています。この基本方針に基づき、農林及び林業における各種施策を推進し、「^{いのち}人と生命と環境を育む京の農林業」の実現を目指します。

京都伝統文化の森推進協議会の活動

京都伝統文化の森推進協議会は、平成 19 年度に設立され、東山の国有林(「東山風景林」)約 190ha を対象に、市民参画による森林整備を進めています。森づくりを通じて、自然との共生を基本とする日本文化の再生を全国に発信します。



ナラ枯れの被害が京都盆地に拡がりつつあります

三山では、マツ枯れ跡に増えたコナラやシイが突然赤く枯れるナラ枯れが拡がっています。

1990 年ごろから日本海側を中心に被害が増加し、さらに南下して京都盆地に拡がりつつあります。

森林景観を大きく変化させています。



長期的目標 4 ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都

Plan (計画・目標)

京都の精神文化である、「始末」という考え方や、「もったいない」と思う心を大切に、今日の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、ごみの発生抑制や資源の循環的利用、廃棄物の適正処理等を推進することにより、限りある資源を将来の世代に残せるよう有効に利用し、環境への負荷が少なく持続的に発展することが可能なまちを目指します。

基本 施策

4-1 一般廃棄物対策の推進

4-2 産業廃棄物対策の推進



行政の取組だけではごみは減りませんので、ご協力をお願いします

Do (実施)

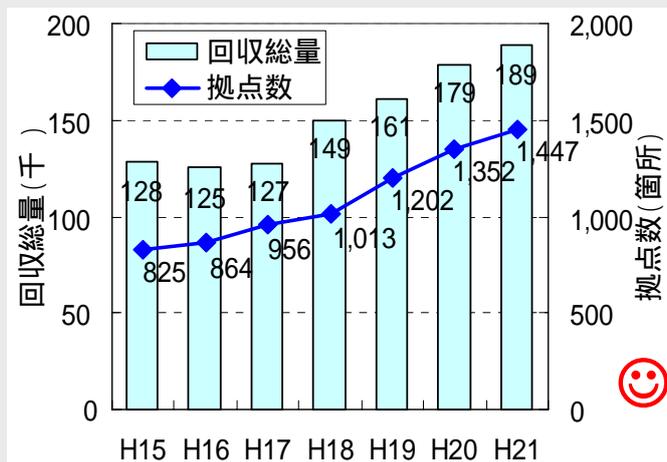


めぐるくん

使用済てんぷら油の回収

集めていただいた油は大切に使用しています

本市では、平成 9 年 8 月から家庭で使用されたてんぷら油を回収し、廃食用油燃料化施設において、バイオディーゼル燃料を精製し、ごみ収集車や一部の市バスの「環境にやさしい燃料」として使用しています。平成 19 年度には助成金制度を創設し、平成 21 年度末現在、1,447 拠点で取り組まれており、189,006ℓ のてんぷら油が回収されました。



新しいごみの計画「ごみ半減プラン」を策定

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン - 京都市循環型社会推進基本計画(2009 - 2020)」を平成 22 年 3 月に策定しました。

「京(きょう)からみんなで環境にええことしましよ！」を合言葉に、「平成 32 年度の市が受入れるごみ量を平成 12 年度のピーク時に比べて半分以上の 39 万トンを目指します。」などの高い目標を掲げ、「世界をリードする環境モデル都市・京都」の実現を目指します。



目標を達成するには、家庭から出るごみを1人1日当たり140グラム減量しなきゃならないんだ、ご協力をお願いします。

小型家電リサイクルの取組

レアメタル(希少金属)は、IT 関連製品などの原料として欠かせない資源であり、国内の需要増加とその産出国が偏在しているため、安定的な確保が極めて重要です。

平成 21 年 11 月から、国などと連携し、関西初の取組として、「不要になった小型家電」を回収し、レアメタルを回収する等、リサイクルするモデル事業を実施しました。

たくさんの携帯電話や卓、CD プレイヤーだね

(写真:回収された小型家電)



主な環境指標の推移

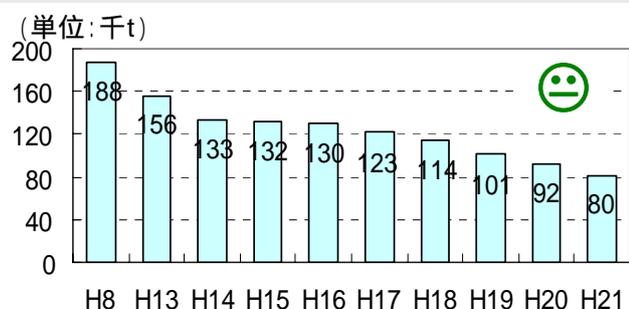
Check (点検)

・一般廃棄物総排出量は、平成 18 年 10 月の家庭ごみ有料指定袋制の導入等により、年々減少しており、平成 22 年度及び平成 27 年度の目標値をすでに達成しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値 (H13)	実績値 (H21)	目標値 (H22)	進捗度及び対基準値比
一般廃棄物総排出量	t	↓	858,257	717,558	810,700	16.4%
一般廃棄物再生利用率	%	↑	11.1	20.3	24.6	83.7%
一般廃棄物最終処分量	t	↓	155,644	80,234	51,600	48.5%
産業廃棄物発生量	千 t	↓	2,896	2,718(H20)	2,744	6.1%
産業廃棄物再生利用率	%	↑	28.5	43.7(H20)	32.0	53.3%
産業廃棄物埋立処分量	千 t	↓	138.0	116.4(H20)	68.0	× 15.9%

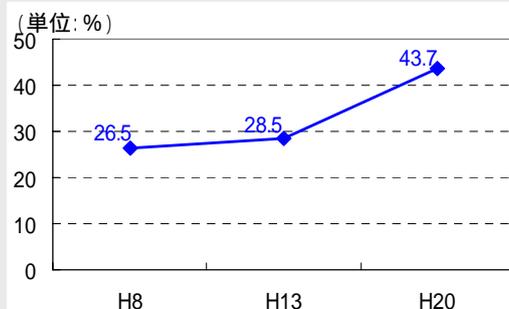
一般廃棄物最終処分量の推移

一般廃棄物総排出量の減少、リサイクルの取組に伴い、一般廃棄物最終処分量も減少し、ピーク(平成 8 年度)の 188 千トンの約 40%にまで減少



産業廃棄物の再生利用率の推移

前回調査の平成 13 年度から大きく増加しました。これは、再生利用された産業廃棄物量全体の 93%を占める建設業及び製造業の再生利用率が大きく上昇しているためです。



Action (改善・見直し・更なる前進)

みんなで減らそう! ごみ半減!



新しい「ごみ減量・分別ハンドブック」を全戸に配布しました。

【新しく工夫された内容の紹介】

- ・ごみに関する最新の現況報告
- ・ごみ減量のために家庭で取り組めること
- ・分別収集, 3Rの大切さ

など

事業者の皆さんへ ごみの分別パンフレットを発行しました

「事業ごみの減量対策」を重点戦略として位置付けています。市内の中小企業者を対象に、廃棄物排出のルールや分別・再資源化の可能な品目を掲載したパンフレットを発行しました。



生ごみ・落ち葉等堆肥化活動助成

平成 22 年度から生ごみや落ち葉を堆肥化する学区や町内会等の取組を支援する助成制度を創設しました。

西京区の取組状況



民間業者が収集するごみは必ず透明袋で!

資源ごみの分別・資源化と、ごみの適正排出を推進するため、民間業者(一般廃棄物許可業者)が収集するごみは、透明袋で出していただくこととしました。

長期的目標 5 すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都

Plan (計画・目標)

今日の環境問題の多くは、日常生活や通常の事業活動に伴って生じる環境への負荷が原因の一つとなっていることを認識し、そのあらゆる場面に環境配慮の考え方を織り込むとともに、地域社会を構成する市民、事業者、行政などのすべての主体が、それぞれの責務や役割のもと、知恵を出し合い工夫しながら連携し、自主的・積極的な行動で環境を支えるまちづくりを推進します。

基本施策

- 5 - 1 環境教育・学習の推進
- 5 - 2 環境保全活動の促進
- 5 - 3 広範な主体の参加と環境コミュニケーションの推進
- 5 - 4 環境関連産業の育成と技術開発の推進

環境配慮行動チェックシート

本冊子に添付した「環境配慮行動チェックシート」は、普段の生活の中で行うことができる環境に配慮した行動事例をまとめたものです。

Do (実施)

こどもエコライフチャレンジ(小学校高学年対象)

未来を担う子どもたちが、地球環境について学び、夏(冬)休み期間中に家族と相談しながら「子ども版環境家計簿」をつけることで、子どもの視点から自分でできることに気づき、「エコライフ」の定着を目指すものです。充実した取組にするため、夏(冬)休みの前後に学習会を行っています。



環境月間の取組

本市では、環境月間である6月には市内で様々な取組を実施しています。



区 イベントより

ごみ減量エコバスツアー

平成 21 年度から、私たちの暮らしに非常に身近なごみ問題を見つめ直し、市民のさらなるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るため、クリーンセンターや資源リサイクルセンターなど、ごみ処理・再資源化施設の見学会を開催しています。

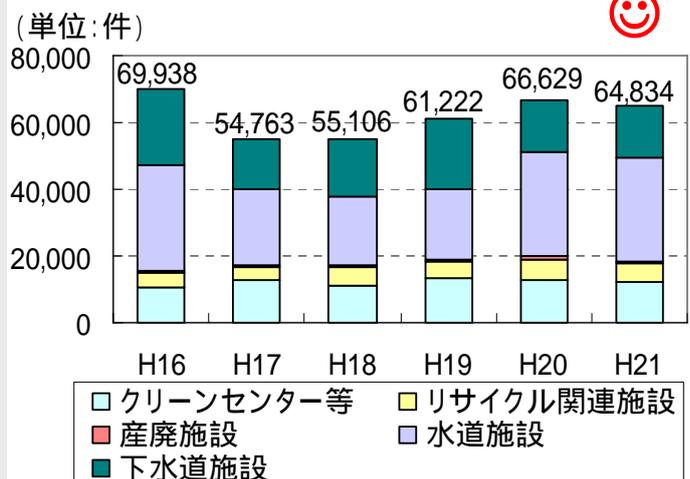
	計	一般公募型	オーダーメイド型
実施回数	53 回	11 回	42 回
参加人数	1,109 人	182 人	927 人

一般公募型:各まち美化事務所単位での実施(対象は当該区在住の小学生以上の方)

オーダーメイド型:地域団体・グループ単位での実施(対象はごみ減量に取り組んでいる地域団体や住民グループ)

環境関連施設の見学者数の推移

クリーンセンター・埋立事業管理事務所等の廃棄物処理施設や、上下水道施設において、一般市民等を対象とした施設見学会を実施しています。年間6万人以上の方々が見学に訪れています。



主な環境指標の推移

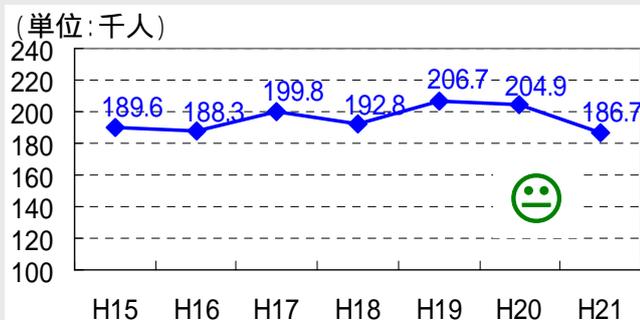
Check (点検)

・環境保全活動プログラム参加者数は、前年度から約 2 万人減少していますが、環境関連施設利用者数は、平成 18 年度以降増加しています。

環境指標	単位	指標区分	基準値 (H16)	実績値 (H21)	進捗度及び対基準値比
環境保全活動プログラム参加者数	人	↗	188,326	186,724	- 0.9%
人材育成数	人	↗	96	102	6.3%
環境関連施設利用者数	人	↗	75,815(H17)	80,068	5.6%
こどもエコクラブ参加団体・参加者数	参加団体数	団体	18	12	-33.3%
	参加者数	人	779	1,153	48.0%
KES 認証取得(保有)件数	団体	↗	389	1,335	310.0%
民間団体数	団体	↗	63	80(H20)	27.0%

環境保全プログラム参加者数の推移

環境学習への参加者数は、186,724 人、前年度から約 2 万人減少しました。



京エコロジーセンター、青少年科学センター、青少年活動センター等が実施する環境学習・生涯学習に参加した人数を集計しています

KES 件数の推移

KES の認証取得(保有)件数は 1,335 団体であり、年々増加しています。



KES (KES・環境マネジメントシステム・スタンダード) は、企業などの経営に当たって、省エネ・省資源、ごみ減量、温室効果ガスの削減など、環境への負荷を低減するための仕組みです。

Action (改善・見直し・更なる前進)

京都市エコイベント実施要綱を策定しました(平成 22 年 10 月策定)

多くの人が集まるイベントの開催は、ごみの大量発生や、エネルギー・資源の大量消費など、環境に大きな負荷を与えます。

イベント開催時はリユース食器を利用したり、公共交通機関の利用を呼びかける等のイベントのエコ化の取組は、ごみの減量やイベントに関わる全ての人のエコ意識の向上につながります。

エコイベントの表彰やコンテストを実施するよ



西京区「区民ふれあいまつり」の状況

「世界一美しいまち・京都」を目指して

市民や事業者の皆様との協働による『世界一美しいまち・京都』の実現に向け、まちの美化活動の参加者は年々増加・拡大し、年間約 18 万人に活動していただいております。今後も様々な事業を展開していきます。

11 月の「京都市美しいまちづくり推進月間」にあわせ、「京都・まち美化大作戦」を実施しました。

(右写真は実施状況)



みやこ 京のアジェンダ 21 フォーラム

持続可能な社会を実現するため設置された、市民・事業者・行政のパートナーシップ組織です。家庭の省エネ相談所、「バスと電車で eco グルメ！」などの事業を展開しました。



”環境にやさしいライフスタイル”を体験してみませんか♪ ～環境関連施設の紹介～

みよこ そうだ！京エコロジーセンターに行ってみよう

京エコロジーセンター(略称:エコセン)は1997年12月に開催された地球温暖化防止京都会議(COP3)を記念して2002年設立されました。環境学習と環境保全活動の拠点として市民が地球温暖化防止に取り組む場として活用されています。

《見て、触れて、感じる「体験型展示」》

1階、2階の展示コーナーでは、地球規模での環境問題から、日常生活に関わるゴミ減量や電気使用削減の知恵まで、体験しながら学べる展示があります。

《建物全体がエコ展示》

太陽光発電、雨水利用、地熱利用をはじめ省エネルギー、省資源型の施設をたくさん導入しています。また、屋上緑化(ビオトープや畑)もお楽しみいただけます。



自分の力で電気を作ってみよう！

1階の体験コーナーでは「人力発電マシン」がおまかせ。頑張って自転車を漕ぐと電気がおこり、映像が流れ出て、京都のエコマップの「ある場所」まで行くことができるよ。どこに行くのかはエコセンで漕いでみてのお楽しみ

毎日使っている電気について考えてみませんか？



手押しポンプをおしてみると...？

1階の手押しポンプを押してみると、上から雨が降ってくる！降った雨は屋根から雨どいを伝って、ご家庭でも設置できる雨水タンクに貯められます。エコセンでは、雨水を地下水槽に貯め、トイレの洗浄水に利用しています。毎日使っている水道水について、考えてみませんか？



環境ボランティア「エコメイト」の紹介

エコセンに来て、まず皆さんをお出迎えるのは環境ボランティア「エコメイト」です。来館者と環境問題を一緒に考えるエコメイトが活躍しています。環境のスペシャリストではなく、市民の目線で来館者とのコミュニケーションをとっています。館内の展示の案内はもちろん、小学生の環境プログラム実施のサポートや環境イベントの企画・実施を行っています。

学生・社会人・主婦・退職された方など様々な方が活躍しています。毎年8月にエコメイトを募っていますので、興味のある方は是非お問合せください。



場所:伏見区深草池ノ内町13
青少年科学センターすぐ隣!!



休刊日:毎週木曜日
(木曜日が祝日の場合、翌日休館)
駐車場はありません。

京エコセン 検索



ご存知ですか 市の取組



「EVバス」の実用化を目指して、実証実験を行いました

低炭素社会を目指し、電気自動車(EV)など次世代自動車への転換を進めているため、平成23年2月にEVバス運行に関する実証実験を行いました。

市役所前広場に急速充電設備を設置し、三菱重工業株式会社が製作したEVバス1台を交通局が運行し、市民の皆様モニターとしてご利用いただき、走行可能時間、充電の必要間隔、乗客の乗心地など、EVバスの走行性能や機能性を調査しました。



実験の結果を踏まえて、EVバスの実用化を目指して取組を進めます。

EVカーシェアリングを体験ください

低炭素社会と公害のない社会の実現を目指して、次世代自動車の普及促進事業に取り組んでおり、その一環として、昨年度に引き続き、電気自動車のカーシェアリングを行います。

今年度は、より多くの皆様に御利用いただけるよう貸出台数を増やし、平日の貸出を新たに始めるほか、貸出場所も複数設けます。また、情報通信システムを活用し、より利用しやすい実践的なカーシェアリングを行います。

貸出車両 三菱 i-MiEV 定員4名(運転者含む) 平日: 台, 土・日・祝日: 台

貸出場所 全 箇所

充電施設の紹介(京都府に 箇所,京都市内に 箇所:平成 年 月現在)

主な充電施設場所: , , など
一例ですので詳しくは、 [で検索](#)

詳しくは市民しんぶんやホームページでご確認ください。 [京都市,カーシェアリング 検索](#)

お問合せ:環境政策局 環境管理課 TEL:(075)-231-0930

「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦の推進 ~人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて~

一人ひとりが歩く暮らしを大切にするることによって、クルマを重視した暮らしから、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための取組として、全国で初めて、大規模なモビリティ・マネジメント(MM)を体系的に実施する、「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦を推進しています。これからも、市民しんぶんを活用し、全市民を対象としたMMや、地域・大学等と連携したMMなどを実施しています。

モビリティ・マネジメント(MM)とは?

多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域の交通行動(モビリティ)が、社会にとって望ましい方向へ自発的に変化するよう促す取組のことで、例えば、交通手段ごとの二酸化炭素排出量を比較したデータを記載した冊子や公共交通利用促進マップ等を活用して、「かしこいクルマの使い方」を考えて暮らしていただけるよう促す取組があげられます。

土曜・日曜・祝日も上京リサイクルステーションをご利用ください

資源物回収拠点を進化させた『上京リサイクルステーション』をご利用下さい。9品目の資源物を平日に加え、**土曜・日曜・祝日**も持ち込めます。更に、ご家庭で処分にお困りの廃棄物についての相談窓口(平日のみ)を併設しています。



回収項目(9項目)

てんぷら油(ラード,機械油は対象外)

蛍光管(電球は対象外)

一升びん,ビールびん

紙パック

乾電池(充電電池,ボタン電池は対象外)

ここでは,他の資源物回収拠点よりさらに,
以下の4つを加えた9項目を回収するよ

古着類(古着,古布,タオルなど)

小型家電類(携帯電話,デジタルカメラなど)

記憶媒体類(CD,DVD,ビデオテープなど)

刃物類(はさみ,包丁,カッターナイフなど)



利用日時 平日: 午前9時~午後5時 **土・日・祝:** 午前9時~午後4時 年末年始は,閉館。

場 所: 上京区中立売通油小路東入甲斐守町100 (旧上京まち美化事務所)

TEL:(075)451-0222 《平日のみ》

地域における総合的な環境行政の拠点窓口「エコまちステーション」を区役所・支所内に開設

地域における自主的な清掃活動,使用済てんぷら油,古紙などのコミュニティ回収等のごみ減量・リサイクル活動への支援,ごみの分別に関する相談,地球温暖化対策の普及啓発等の拠点となる窓口を区役所・支所内に開設しています。

こんな時は,「エコまちステーション」にご相談ください。

資源ごみの出し方,分別方法を知りたい。

資源物回収拠点(マップ)を知りたい。

蛍光管の処分はどうすればいいの?

粗大ごみ手数料券を購入したい。

自治会で一斉清掃をするので清掃道具を貸してほしい。 など

市民の皆様との共汗の輪を広げる取組を更に推進します!



みんなで探そう! いきもの発見! 京のいきもの発見事業 にご参加ください

市の助成制度の紹介

住宅用太陽光発電システム設置助成制度	環境政策局地球温暖化対策室 電話 222-4555												
<p>民生・家庭部門からの温室効果ガスの排出を抑制するため、住宅用太陽光発電システムによる自然エネルギーの利用を重要な取組と位置付け、当該システムの設置助成制度を実施しています。</p> <p>(以下、助成の内容)</p> <div data-bbox="970 282 1469 562" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="970 568 1453 600">景観配慮型太陽光発電システムの設置例</p>													
電動式生ごみ処理機・生ごみコンポスト容器 購入助成金制度	環境政策局 循環型社会推進部 まち美化推進課 電話 213-4960												
<p>ごみ減量に貢献する機器ですが、販売価格が5万円以上と高価なため、各家庭で実践できる身近なごみ減量への取組として、その購入費用の一部を助成しています。</p> <p>(以下、助成の内容)</p> <div data-bbox="1246 775 1426 949" data-label="Image"> </div>													
コミュニティ回収制度	各区役所，支所のエコまちステーション												
<p>町内会やご近所のグループなどによる集団回収『コミュニティ回収制度』を実施しています。資源回収の目的や地域に合った回収方法をみんなで話し合っ決めて決めることができます。</p> <p>(以下、助成の内容)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【回収品目】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古紙類</td> <td>新聞を中心として、雑誌、段ボール、紙パック など</td> </tr> <tr> <td>古着類</td> <td>古着、古布</td> </tr> <tr> <td>缶類</td> <td>アルミ缶、スチール缶</td> </tr> <tr> <td>びん類</td> <td>一升びん、ビールびんなどのリユースびん以外</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>ペットボトル、小型金属類 など</td> </tr> </tbody> </table>	【回収品目】		古紙類	新聞を中心として、雑誌、段ボール、紙パック など	古着類	古着、古布	缶類	アルミ缶、スチール缶	びん類	一升びん、ビールびんなどのリユースびん以外	その他	ペットボトル、小型金属類 など
【回収品目】													
古紙類	新聞を中心として、雑誌、段ボール、紙パック など												
古着類	古着、古布												
缶類	アルミ缶、スチール缶												
びん類	一升びん、ビールびんなどのリユースびん以外												
その他	ペットボトル、小型金属類 など												
まちなか緑化事業	建設局 水と緑環境部 緑政課 電話												
ペレットストーブ助成事業													

平成21年度版環境レポートについて寄せられたご意見と施策・事業への反映について

主な意見と、それらの意見に対する施策・事業への反映等は以下のとおりです。

主な意見	本市の施策・事業への反映等
太陽光発電を普及させて欲しい。	住宅用太陽光発電システム設置助成制度を拡大
観光客マイカーの中心地への乗り入れ規制，路面電車等の運用検討，バスの夜間の運転など，公共交通機関の利用を促進して欲しい。	観光地等交通対策として臨時交通規制，地下鉄運行ダイヤの見直し，市バスロケーションシステムの構築
自転車専用道路の設置，自転車置場の新設など，自転車利用を促進して欲しい。	御池通等で自転車専用道の試験的導入，まちかど駐輪場を順次拡大
自然とのふれあいの機会を増やし，自然を大切にしようと思えるきっかけを提供して欲しい。	京いきもの発見事業の取組，「花背山の家」などの自然体験施設の紹介，梅小路公園「いのちの森」の自然観察会や山村都市交流の森イベントの紹介
ビルの屋上や今まで利用されていないような場所の緑化など，まちなかの緑を増やして欲しい。	京のまちなか緑化助成事業，街路樹の整備，御池通等のスポンサー花壇の取組
レジ袋を渡さない，渡す前に必要かどうか確認するような販売店を増やす取組を進めて欲しい。	「『レジ袋いりまへん』で，もっと減らそう！キャンペーン」の実施，ごみ減量に関する学習会の実施
ごみ分別のパンフレットの工夫など，ごみ分別の意識を高められるよう工夫して欲しい。	新ごみ分別辞典を全戸に配布，事業者を対象とした「分別啓発パンフレット」の発行
市民に取り組んでほしいことを，様々なネットワークを活用し，わかりやすく知らせて欲しい。	市民しんぶんやホームページに掲載，環境レポートに付した「環境配慮行動チェックシート」を活用し，家庭でできる環境保全の取組を紹介
各コミュニティに環境保全委員を置き，地元で活動しやすくするシステムを構築して欲しい。	各区役所等にエコまちステーションを開設（ゴミの分別相談，地球温暖化防止の普及啓発）

関連ホームページ URL

地球温暖化対策に関すること：詳しくは，環境政策局 地球温暖化対策室 [地球温暖化](#) [検索](#)

ごみ・リサイクルに関すること：詳しくは，環境政策局 循環型社会推進部 [ごみ，リサイクル](#) [検索](#)

に関すること：詳しくは [検索](#)

に関すること：詳しくは [検索](#)

に関すること：詳しくは [検索](#)

に関すること：詳しくは [検索](#)

に関すること：詳しくは [検索](#)

市の率先実行の取組，環境会計について詳しくは [検索](#)

発行：京都市環境政策局環境企画部環境総務課

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 西庁舎 2 階

TEL 075-222-3450 FAX 075-222-3426

E-mail k-kyosei@city.kyoto.jp

http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-2-1-0-0_11.html

平成 23 年 x 月発行 京都市印刷物 第XXXXXX号

